



2025年平和の日曜日 礼拝リソース

mwc-cmm.org

作成者：
MWC平和
委員会

2025年9月21日

1

テーマと テキスト

a. テーマ：
愛する勇氣

b. このテーマを選んだ理由：

愛を実行することは勇氣ある行為です。
イエスは何度も、信者（そして聴衆）に愛の行為を
体現するよう招き、励まし、そのような行為がいかに
危険であるか、またそれゆえに勇敢な行為になり得る
かを強調しています。

これらの平和の日曜日のリソースは、私たちが世
界のために愛する勇氣を体現できる方法を探索し、
育み、解明することを目指しています。

c. 聖書本文：

マタイ22:34-40
パリサイ人たちは、イエスがサドカイ人たちに黙ら
せたと聞いて集まりました。そのうちの一人、律法
の専門家が、イエスを試そうとして尋ねました。「先
生、律法の中で、どの戒めが最も重要ですか。」
イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、
思いを尽くして、主なるあなたの神を愛しなさい。』
これが最も重要で第一の戒めです。第二もこれと
同様です。『隣人を自分のように愛しなさい。』こ
の二つの戒めに、律法全体と預言者がかかっています。」

2

祈り リクエスト

- 和解の働きにおいてキリストの協力者として召された者として、私たちは日々、神に心を開いて生きることができますように。
自分自身、隣人、そして「敵」、すべての被造物、そして神と和解しましょう。
- 私たち自身の地域社会や世界中で、暴力、分断、そして戦争を目の当たりにするとき、聖霊の導きに耳を傾け、分断と殺戮をもたらす力に創造的かつ勇敢に抵抗しまし
よう。特に、エチオピア、ミャンマー、ウクライナで戦争が続くアナバプテストの家族、そしてホンジュラス、エクアドル、コロンビア、そしてアメリカ合衆国で
組織的暴力に苦しむ人々のために祈ります。
- パレスチナの人々の苦しみのために特別な祈りを捧げます。パレスチナのキリスト教徒は2000年にわたり、イエスの平和の道を歩んできました。この途方もない苦
しみの時に、神が彼らのスムード（揺るぎない信仰）を強めてくださいますように。世界中のキリスト教徒が、これらの兄弟姉妹を助けるために立ち上がる勇氣
を持ちますように。
- 私たちは、違いの中でも連帯を実践しながら、世界中のアナバプテストの家族と共に歩む機会を与えてくださった神に感謝します。
地域社会として力を合わせ、政府の一つになって声を上げましょう。互いに愛し合い、一致してイエスに従いながら、互いに学び合ひましょう。

3

歌 提案

私たちは平和を望んで
います youtu.be/7KzDDISnBRw

私たちは抑圧と和解しません youtube.com/watch?v=L57GTkvU8qo

これらの曲を公共の集会で使用する前に、教会の著作権プロ
トコルを確認してください。

追加 リソース

mwc-cmm.org/peacesunday

a. 追加
リソース

このパッケージには

- 典礼と祈り・教
材・証言
- 賛美歌の情報

b. オンラインで利用可能な
追加リソース

- 写真（このパッケージで使用され
ているものすべてを含む）





平和
日曜日

活動

私たちの隣人とは誰でしょうか？福音とは何でしょうか？

地域社会で「サマリア人の行為」(ルカ10:25-37)を実践する

または

物語における「福音」の意味を探り、ルカ4章で福音が具体化されているさまざまな実際的な方法に注目してください。

1. 4週間にわたって一緒に課題に取り組む多世代グループを作成します。
2. グループ内で、自分なりの「サマリア人の行為」を実践したり、福音を探求したりする方法を考えてみましょう。
あなたのコミュニティで
 - 大胆・カウンターカルチャー・危険
3. 今後4週間にわたって、地域社会で行動を起こします。
4. 毎週あなたのストーリーを共有しましょう。
 - グループ内で報告し、話し合います。
 - 何を実行していますか？• 何をするかをどのように決めましたか？• どのような経験をしましたか？
 - 礼拝でのハイライト（そしてローライト）を共有しましょうサービス
5. グループの決定、行動、共通の壁やボードに意見を書き込み、活動のマップを作成します。

許可を得た上で、あなたのストーリーと写真を

 photo@mwc-cmm.org に写真をアップロードして、世界中のアナバプテストの家族と共有してください。



連絡先：

アンドリュー・スダーマン | MWC平和委員会事務局長

AndrewSuderman@mwc-cmm.org | mwc-cmm.org/平和委員会

平和を実践するためにこれらのリソースをどのように活用しましたか？

☒ あなたのストーリー、写真、ビデオ、またはアートワークをphotos@mwc-cmm.orgまでお送りください。

このパッケージに含まれる聖書のテキスト、祈り、賛美歌の提案、説教のアイデア、証し、その他の資料は、MWCのメンバーがそれぞれの地域における経験に基づいて作成したものです。この教えは必ずしもMWCの公式見解を反映するものではありません。



祈りと典礼

今のところの連祷

レスポンス読み上げ : 通常のテキストには1つの音声、太字テキストにはすべての音声が続きます。太字および斜体のテキストではすべての音声が続きます。

驚くべき誕生の神よ、あなたは私
たちが期待する救世主ではありません。あなたの力は
私たちが神に示して欲しい力とは似ていません。

待ってます。
私たちは暗闇の中で待ちます。
私たちは苦悩しながら、そして希望を持ちながら待ちます。
希望をつかむためには、お互いとあなたの存在が必要であることを知りながら、
私たちは待ちます。

私たちは言葉や行為、そしてやらないことを選択したことで、人を傷つけたり傷つけ
られたりしてきました。

害が終わりでないことを私たちは知っています。あなたと共に、害が調和に変
わることを私たちは知っています。

愚かな誕生の神。
あなたの慈悲は私たちを困惑させます。
あなたは私たちがいる場所で私たちに会いに来てくださいます。そして、ありがたいことに、私たちは発見された場所に
置き去りにされることはありません。

我々は見守る。
私たちはこの恵みを期待して見守ります。
私たちは、あなたの光が見つかるということを知りながら、暗闇をじっと見つめてい
ます。

私たちは不器用な方法でも、あなたの恵みを周りの人々に反映させたいと願っ
ています。

あなたの変革の力が、それらを本来あるべき姿に変えることができると知りながら、
私たちが互いからの贈り物を謙虚に受け入れることができますように。

謙虚な生まれの神よ、あなたは

私たちのあなたと互いに対する思い込みを崩し、判断を理解に、差別を連帯に、無慈悲
を慈悲に変えてくださいます。

不思議ですね。

私たちは、弱さの力を示す、あなたの飼料葉桶での誕生の大胆さに驚嘆します。

仕事は困難かもしれませんが、私たちは正義と慈悲へのあなたの呼びかけに従って
生きます。

私たちはあなたの驚くべき、愚かで謙虚な誕生を称えます。アーメン。

—Voices Together #896、ロバート・マカフィー・ブラウ
ン、アン・ラモット著『英国国教会祈祷書』よりカレン・スダーマンが編
集。



シンシア・ピーコック氏（前列）は、MWC創立100周年記念式典で祝福の祈りを捧げ
ました。彼女はベンガル語でスピーチを行いました。



平和
日曜日

世界の平和への祈り

礼拝に集うことで、私たちはこの行為、つまり共同体を創り、交わりを築く行為の大切さを認識します。それは、互いに互いを共同体の一員として認めることの大切さを思い出させてくれます。また、私たちは、より広い信仰の家族、つまり世界的な共同体を形成する、その小さな一員であることも認識します。私たちは共に、キリストの体であることを改めて心に刻みま

共に集う中で、私たちは信仰の家族の中にも、隣の家に住んでいたり、世界のさまざまな場所に住んでいたり、戦争、暴力、抑圧の現実を経験している人々がたくさんいることを認識しています。私たちは、続く戦争によって傷ついた国々から来ています。そして、痛みを乗り越え、

そのような暴力と破壊が引き起こす破壊。

私たちは、私たちの世界的な共同体の中で、抑圧され、人間性を奪われているにもかかわらず、神の価値ある子として回復力を発揮している多くのの人々を認識しています。

私たちは戦争、暴力、抑圧を知り、経験し、そしてそれによって形作られています。

そして、平和の君イエス・キリストへの共通の信仰を思い起こすとき、私たちは戦争、そして戦争の準備が平和をもたらさないことを知っています。

- 飢餓で他人を死なせることは、
平和。
- 他国を爆撃しても平和は生まれません。• 殺人しても平和は生まれません。• 経済的に他国を搾取しても平和は生まれません。
- 平和について。•
- 壁を建てても平和は生まれません。

戦争は破壊を引き起こします。私たちの生活と人間関係の基盤を引き裂き、地域社会、国家、そして人々の希望と夢を瓦礫にしてしまうのです。

暴力に暴力で応じることは、私たちがなりたくないものへと私たちを導いてしまいます。私たちは死ではなく、生を証ししたいのです。傷を癒したいのです。新たな傷を与えたいのではありません。私たちは、互いの間に分断や隔たりを固定化するのではなく、壊れた関係を築き、和解させたいのです。

意見の異なる人々も含みます。私たちが望むのは平和であり、さらなる暴力や戦争ではありません。

私たちは、戦争の最前線にいる私たち自身と兄弟たちに、銃器を置いて、腕を使って抱きしめ合い抱きしめられるという大胆な行動と決意をするよう呼びかけます。

私たちとは異なる人々、つまり文化、国家、イデオロギーの壁を越えた人々を見るとき、私たちは愛する勇気を持つべきです。敵と見なすのではなく、神の愛する子ども、そして潜在的な友人として見なすべきです。

政治権力の座にある人々に、心と精神と想像力を開き、硬直性や頑固さではなく創造性を発揮し、支配や分断ではなく対話を通して違いを乗り越えるよう呼びかけます。そして、そのような分離が生み出す束縛から、あなた自身と他者を解放するよう呼びかけます。

私たちは、私たち自身とすべての兄弟姉妹に対し、国家主義的なイデオロギーと分離がいかに安全と安心をもたらさないかを認識するよう呼びかけます。安全と安心は、隣人や世界中の兄弟姉妹との関係が育まれることによってのみ実現します。だからこそ、私たちは世界中のすべての兄弟姉妹に対し、他者におもてなしの心を示すよう呼びかけます。そうすることで、おもてなしを受ける側も、与える側も、共に人生を歩み、共に喜びを分かち合うことができるのです。おもてなしは、命を与える姿勢なのです。

互いに求め合い、抱き合うことでのみ実現する平和のために、私たちは努力し、献身しましょう。そうすることで、正義と平和がキスをし、紛争の根源となる原因に挑戦するのです。これこそが、イエスの命を与える平和、キリストの平和なのです。

私たちの世界のために、そして私たちの世界に、キリストの平和の道を証しすることができますように。

—アンドリュー・G・サダーマンは平和委員会の事務局長です。米国バージニア州ハリソンバーグ在住。



平和
日曜日

中東戦争に関する牧師の手紙

愛する姉妹、兄弟

今日の中東における戦争の激化は、世界中のアナバプテストの家族にとって恐怖と悲しみの源となっています。ある人にとっては新たな現実であり、またある人にとっては、地域紛争によって何年も何十年も続いた暴力の重荷にさらに重くのしかかるものとなっています。私たちは、強大な権力者の策略によって押しつぶされているすべての人々を目の当たりにし、嘆き悲しみ、彼らの中に神の慈悲深い臨在を祈ります。神の御心の一部として戦争を正当化するいかなる行為も、私たちは断固として非難します。

私たちは祈りによって行動を起こします。そして、私たちの行動が祈りとなるように促します。

私たちの忠誠は大統領や王ではなく、平和の君主にあります。歴史的平和教会、つまり平和の道に捧げられた教会の一員として、私たちは敵に対する徹底的な愛を私たちに呼びかける平和の君主、イエスに従います。

この愛は、敵であろうと友人であろうと、人間の「他者」の中に神を見るように私たちの心を訓練します。

この愛は私たちに正義を求める勇気を与えてくれます。

この愛は、私たちが、個人間、組織レベル、国家間、民族間、そして紛争の中で被害を受ける他の創造物との間で、正しい関係を追求するよう呼びかけています。

キリストの愛の力は、国家を擁護する誇りやイデオロギーの純粋さではなく、国民性や政治的所属に関係なく、苦しむ人々への思いやりへと私たちを結集させます。

イエスの教えは、敵は他人ではなく、壁を作り、敵意に陥ってしまうという私たち自身の本能そのものであることを私たちに思い出させてくれます。私たちが愛する勇気を見出すとき、神の変革の力が、分裂、抑圧、そして殺戮をもたらす暴力の連鎖を断ち切ってくださいと祈ります。

正義は平和と共にあるべきです。実際、平和は、修復的で真実を追求し、賠償を志向する正義が体現されて初めて実現できるのです。

私たちは、公正な平和を求めることのできなかったことを告白します。聖霊に、謙遜さを教え、愛する勇気を与えてくださるよう祈ります。預言的な明晰さをもって真理を認識し、語る知恵を祈ります。

そして、自己犠牲的な愛。私たちは、自らを危険にさらしても不正に立ち向かう勇気を求めます。

私たちは、政府に対してであれ、国民に対してであれ、現在進行中の暴力と死の原因に対する無批判な支援に疑問を呈し、声を上げることを決意します。

世界的なアナバプテスト共同体として、私たちはイエスのように暴力を放棄します。イエスの弟子として、私たちは積極的な非暴力を通して不公正な体制を変革することに尽力します。各国に対し、戦争への投資をやめ、銃やミサイル、暴力的な力によってもたらされることのない平和への道を模索する努力を始めるよう呼びかけます。そうすることで、すべての人が繁栄できるのです。

この危機に直面すると、私たちの言葉は小さく不十分に思えるかもしれません。しかし、私たちは「イエスの霊は、人生の

あらゆる場面で神を信頼する力を与えてくれます。そうすることで、私たちは暴力を放棄し、敵を愛し、正義を求め、困っている人々と財産を分かち合う平和の創造者となるのです。」という確信を新たにします。(共有の確信5)

主よ、あなたの慈悲により、私たちの祈りをお聞き下さい。

平和の君イエスの名において、ヘンク・ステンバース

MWC会長

祝祷

瞬間の祝福

待つ作業の中で

神があなたに喜びを与えますように

不可解な恩恵の中で

神があなたを支えますように

困難な仕事の中で、神があなた

に平安を与えてくださいますように。

神の驚くべき、愚かな、謙虚な愛に包まれて、行きなさい。



教育リソース

近接関係の再構築

マタイによる福音書22章34～40節の説教
アンドレス・パチェコ・ロサノ

「ベシーノ」または「ベシーナ」（隣人）。これは、コロンビアのボゴタで、私たちが周りの様々な人々を呼ぶ方法の一つです。同じ建物に住んでいる人、隣の家に住んでいる人、お店やその他の公共の場所で出会う人など、誰に対しても使います。よく知っている人でも、名前さえ知らない人でも、「隣人」と呼ぶことで、私たちの関係は瞬時に温かくなります。人と出会うとき、それは距離や疎外感、そして対立さえも超越する方法なのです。



MWC加盟教会イグレシア・エヴァンジェリカ・メノニータ・デル・ペルーは、再洗礼500周年を記念して2025年1月18～22日、ペルーのクスコで「祝う、装備する、礼拝」を開催した。

隣人とは親しさを表す言葉です。英語では、マタイによる福音書22章34～40節でこの言葉が使われています。一方、スペイン語とフランス語では、この聖書箇所が「prójimo」（近い人）という表現がよく使われます。「prójimo」や「prójima」は「近い」「近くににいる」という概念に由来していますが、あまりにも抽象的で日常生活とはかけ離れた言葉です。

通常、prójimo/prójima という用語は、聖書の一節を指したり、キリスト教信仰の倫理的な意味合いを強調したい場合に使われます。日常生活で出会う人々について話すときにはあまり使われません。

親密さを強調したらどうなるでしょうか、ボゴタで「隣人」と呼ぶときのように、私たちは他人の温かさや日常性を感じ取るのでしょうか？ では、この聖書の一節をどのように読むのでしょうか？

マタイのこの文章はよく知られており、非常に明確かつ正確です。それでも、イエスの言われたことの様々な側面や解釈を強調することは可能です。

私たちは、信仰の「垂直」と「水平」の性質、つまり神への愛と他の人間への愛の関係を強調することができます。マタイによる福音書のこの箇所の解説において、リチャード・B・ガードナー¹はこう述べています。

は、これらの戒律は必然的に新しいものだ主張します。「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして神を愛せよ」という戒律は申命記6章5節に出てきます。身近な人を愛せよという概念はレビ記19章18節にあります。イエスの応答がこれほど新しいのは、この二つの戒律が相互に依存しているからです。私たちの信仰において、縦方向と横方向を切り離すことは不可能です。

もう一つの解釈の角度としては、私たちの信仰と生き方の間にある繋がりについて、私たちがどのように理解しているかが挙げられます。神を愛していると言いながら、隣人の苦しみに対して無関心でいるのは矛盾でしょう。

我々が我々の平和と正義の神でありながら、他のすべての人々に対して抑圧的で不当な行為を続けています。実際、リチャード・B・ガードナーは、この聖句から得られる結論の一つは、隣人を愛することは、世界に対する神の愛を体現し、示す行為であるということであると提唱しています。3イエスの人生は、世界に対する神の愛が肉となったもののなのです。

同時に、私たち人間は、他の人々、そして他の被造物を愛することによって、神への愛を体現するよう招かれています。私たちの周りの人々、特に疎外された人々に対する私たちの行いこそが、神への愛を証しするものです。だからこそ、私たちは信仰について理解することと、それをどのように生きるかを切り離すことはできないのです。



平和
日曜日

マタイによる福音書22章におけるイエスの応答は、聖書全体を理解するための鍵ともなり得ます。イエスの応答は、時に曖昧であったり互いに矛盾しているように見える聖書の言葉、律法、戒律の意味を理解するためのレンズとなります。リチャード・B・ガードナーは、2世紀に遡るラビの伝承によれば、トーラーには約613の律法（365の禁止事項と248の戒律）が含まれていると述べています。4イエスが神への愛と隣人への愛を最も重要な戒律として高く評価した時、他のすべての律法は従属させられ、神と隣人を愛するというレンズを通して解釈されることが求められました。

これらの観察が価値あるものならば、この文章はマタイによる福音書22章34-40節は、今もお解釈の限らない聖句です。私たちの世界は、神を愛し、隣人を愛することについて、この聖句が何を言おうとしているのかを絶えず再解釈することを必要としています。これは特に、気候変動の緊急事態、政権選挙、外国人排斥感情の再燃、社会における暴力、戦争や大量虐殺といった、私たちが日々直面しなければならない現実と直面している時にこそ当てはまります。

恥を知れ、隣人！恥を知れ、隣人！

ボゴタの人々を「隣人」と呼ぶという話を続けると、私たちはよくこう言います。「¡qué pena、助けが必要なときや、何か謝りたいときには、「残念ですね、ご近所さん」と言うのが一般的です。

私たちは、身近な人間関係が深く歪められ、侵害されている世界に生きています。そして、私たち自身もしばしば、その被害に加担してきました。だからこそ、私たちは身近な人間関係、隣人関係をどのように傷つけてきたのかを、注意深く見極める必要があるのです。

おそらく私たちは「ごめんなさいご近所さん、ごめんなさいご近所さん、ごめんなさいご近所さん」と告白する必要があるのかもしれませんが。

私たちが生きている時代は、私たちは、周囲の人々に疑念を抱きます。それは、彼らが自分とは違う問題を抱えているから、あるいは移民、避難民、あるいは周縁化された人々だからという理由からです。周りの人々が地元の人であろうと、他の場所、国、あるいは地域から来た人であろうと、それは問題ではありません。なぜなら、私たちは彼らを隣人としてではなく、見知らぬ人、敵対的な人、あるいは敵や犯罪者と見なすからです。

私たちの歴史上、そして現在の世界における戦争は隣国間で起こっています。

自然との隣人関係も深刻な影響を受けています。私たちは相互依存関係を支配と統制の関係へと変えてしまいました。自然を、単に搾取し、利用するための資源としか見ていません。気候変動は、私たち人間が引き起こし、そして今も引き起こし続けている被害の兆候の一つです。私たちの大切な空間、地球と水との関係は、致命的な傷を負っています。



ペルー、ピウラの街路は豪雨により冠水。気候変動は私たちに隣人を愛することを呼びかけています。

ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい…

こうした矛盾する現実の中で、パリサイ人がイエスに「どの戒めが最も重要か」と尋ねたことは、特別な意味を帯びています。私たちは、こうした歪んだ状況に対処するために、信仰の指針と基準をどのように見出せるのでしょうか。

私たちはどの法律に従うべきでしょうか？政府、政治家、経済大国が国際法や人権といった人類の法的枠組みを何の罰も受けずに無視した場合、私たちはどうすべきでしょうか？現政権が、私たちが環境への影響を制限するために講じてきた措置を覆した場合、私たちはどうすればよいのでしょうか？

イエスが地上を歩いた時と同じように、ジレンマは何千もの法や倫理的枠組みが存在することだけではありません。抑圧と暴力によって、私たちが基準点を見つけ、信仰の中心となる教義に再び触れ、どのように見極めるかがますます緊急に求められるため、ジレンマはさらに深刻化します。

行動する。



平和
日曜日

「おはようございます、ご近所さん」「おはようございます、ご近所さん」。

ボゴタ（コロンビア）を訪れたことも住んだこともない人と話すとき、私はよく「ブエノス・ディアス・ベシーナ」または「ブエノス・ディアス・ベシーノ」（おはよう、ご近所さん）という挨拶の仕方を話します。その発音と意味を説明するのに、たいてい数分（と例を挙げながら）かかります。笑いがこみ上げてくると、たとえ隣に住んでいなくても、「隣人」という言葉を他の人を指すときに使うことをうまく説明できたかどうか、いつも不安になります。

神と近隣の人々を愛することについて書かれたこの聖句を、スペイン語の「prójimo（プロキシモ）」という言葉に重点を置きながら読むたびに、ボゴタで私たちが日常的に「隣人」という言葉をどのように使っているかを踏まえながら、「隣人」という言葉が内包するニュアンスを意識的に考えようと思います。この意味で、イエスは私たちに、身近な人間関係を再考するよう招いておられるのです。



コロンビアのヒラルドにあるメノナイト派キリスト教コミュニティのメンバーは、「パンと平和の日曜日」であるパン・イ・パスに、近隣の人たち（プロキシモとベシーノ）とパンを分かち合います。

人々に関わることはカウンターカルチャー的な行為である。目に見える壁と目に見えない壁が私たちが隔てている時、地域社会や国の問題のスケープゴートに疎外された集団が使われるのが常態化している時、他者を敵視するよう迫られる時、私たちは隣人として寄り添います。隣人として行動する時、私たちは現状に逆らうのです。

誰かを「隣人」と呼ぶのは、表面的なもの、社交辞令、あるいはボゴタで慣れ親しんだ言葉のように聞こえるかもしれませんが、しかし、他人を「隣人」と呼ぶとき、私たちは「隣人」という絆を築きます。

親密さ、以前には存在しなかったかもしれない絆。
この絆により、彼らを他人または敵とみなすことが難しくなります。

私たちが他の人々を持つ遠距離や近距離の関係は、静的でも硬直的でもない。それは驚くべき形で変化し、形作られる。たとえ他人や敵だと思っていた人でさえ、隣人になることがある。良きサマリア人のたとえ話（ルカによる福音書10章25〜37節）の中で、イエスは隣人とは誰なのかを示すことで、このことをよく示している。イエスの時代、サマリア人とユダヤ人の関係は不安定だった。しかし、ユダヤ人がサマリア人を他人、いや敵とさえ見ていたにもかかわらず、イエスはサマリア人を隣人の輝かしい模範と見なした。

イエスの応答はまさに私たちが呼びかけていると私は信じています。このように、私たちは愛と近さの関係を再構築しなければなりません。隣人と呼べる人は、常にもっとたくさんいます。隣人を愛することが神への愛をはっきりと示す方法であるという考えに固執するならば、私たちはこの愛を生き、表現する方法を常に豊かにし、養わなければなりません。どんなに複雑に思えても、新しい日々、新しい状況、新しい現実、私たちが周りの人々と共に神の愛を体現できる日々なのです。

何かお手伝いしましょうか、ご近所さん？

ボゴタでは、店主は何かを探しに店に入ってくる人によく「何かお探しますか、お隣さん」と声をかけます。この言葉で私が感銘を受けたのは、彼らが私たちを「隣人」と呼ぶだけでなく、助けを申し出してくれることです。私たちが生きているこの世界では、世界中の他の人々や隣人に起こる出来事を悲しく思うこともあるでしょう。しかし、それが私たちの安らぎを損なわない限り、遠くから彼らの状況に共感することも選択肢の一つです。

隣人を愛することが神への愛を表現し体現することだとすれば、隣人を愛するようにという招きは、連帯して行動し、何をすべきか、どのように助けることができるかを見極めるための招きでもあります。隣人を愛することは言葉で終わるのではなく、行動に移さなければなりません。答えを持つことや問題を解決することでもありません。



平和
日曜日

相手が何をすべきか、私たちは決めることができるでしょうか。連帯して行動するということは、他者と共に歩み、彼らの声に耳を傾け、どう行動すべきかを共に判断することを意味します。それは、Instagramの投稿に「いいね！」したり、TikTokで動画をシェアしたりする以上の意味を持ちます。

私たちは時には、活動家として、また非暴力のデモや行進に参加することで連帯を表明します。
また、私たちは自らの特権を認識し、それに立ち向かい、多くの人々やコミュニティの苦難において味方となることで連帯を示すこともあります。連帯とは、多くの人々が耐えてきた様々な形態の暴力に立ち向かうための、安全な場所や勇気ある場所を見つけ、創造することも意味します。重要なのは、あらゆる連帯の形を長々と列挙することではありません。これらは、連帯とは言葉や同情を超えたものであることを示す、単なる道しるべに過ぎません。

隣人であることには、一連の責任と用心深さが伴います。暴力が最も深刻な形で現れるのは、私たちの最も親密な関係においてです。私たちはこうした暴力について語ることは滅多になく、しばしばそれらを明るみに出す声を封じ込めようとします。ジェンダーに基づく暴力、性暴力、家庭内暴力（いわゆるドメスティック・バイオレンス）などは、親密であることが必ずしも健全で公正な関係を保証するものではないことを示しています。暴力という罪、そしてそれがもたらす深い傷は、親密な関係においても表れることがあります。隣人を愛することは神への愛の表現である、と語る時、私たちは他の人々の繁栄を助けるという計り知れない責任を改めて認識させられます。

言い換えれば、他の人を隣人として認識することは、単に温かさ表現する方法であるだけでなく、責任を持ち、彼らの幸福を気遣うという決意も必要とします。

もう一度言いますが、隣人を愛することこそが私たちの身近な存在が、神への愛を体現するのです。

アナバプティズム500周年を祝い、この重要な機会に選ばれたテーマ「愛する勇気」について考えるとき、神と隣人を愛することが今日にもたらす意味と責任に立ち返ることが重要です。

死と絶望が支配しているように見えるこの世界で、イエスの声が、私たちが理解すること、そして信仰をどう生きるかの中心にイエスがいるべきだということを私たちに思い出させてくれますように。

今こそ、私たちの隣人とは誰なのかを考え、隣人として接する時でありますように。

これが私たちが勇気を受け入れる時となりますようにありそうにない、あるいは不可能だと思われるような関係も含めて、他の人々と愛し、新しい絆や親密な関係を築くこと。

私たちが共に幸福を求めながら、他者と連帯して行動するという新たな決意を築くための、新たな始まりの時でもありますように。

そして、私たちが計り知れないほど愛し、他の人々や世界との関係を通してその愛に応えるよう招いてくださる愛の神が、この道において私たちに挑戦し、導き続けてくださいますように。

アーメン。

ーアンドレス・パチェコ・ロサノ氏は平和委員会の委員長です。コロンビア出身で、現在はオランダのアムステルダムに住んでいます。この資料は、コロンビアのボゴタにあるテウスサキジョ教会で彼が行った説教を基に作成されています。



YAB 代表者（各国の会員会議の代表者）は、2025 年 5 月にドイツで開催される会議の最後に国旗を掲揚します。

¹ ガードナー、リチャード・B（1991年）『ビリーバーズ・チャーチ聖書注解：マタイ伝』ヘラルド・プレス。

² ガードナー、1991年、425ページ。

³ 同上、430。

⁴ 同上、425。



証言

平和教会であるということはどういう意味ですか？



メノナイト派聖書宣教教会の会長アモス・チンがミャンマーでスー・リンに洗礼を受ける。

ミャンマーの教会の物語歴史的な平和教会、あるいは

はキリストの平和の道に捧げられた教会であるということはどういう意味でしょうか？

これは、ミャンマーで続く紛争が国内の多くの人々に影響を及ぼし続ける中で、ミャンマーのメノナイト教会が取り組んでいる問題である。

数年前、軍は民主的に選出された政府を打倒し、軍が任命した大統領と政権を設置した。

人権侵害は増加しており、特に軍事政権（軍事政権）があらゆる反対意見を弾圧し、あらゆる反対勢力を排除しようとしたことが顕著です。この結果、大規模な襲撃や殺害、恣意的な拘束、人々の住居からの強制退去、表現の自由や集会の自由の制限が起きました。礼拝などへの集会に対する不安も高まっています。軍事政権はまた、兵役義務も導入しました。

このような状況において教会の役割は何でしょうか？

このような現実の中で、キリストの平和の道に身を捧げるとはどういう意味でしょうか？

戦争の真っ只中にある平和の教会これらは、ミャンマー

のメノナイト聖書宣教教会（BMC）の会員たちが問い続けている質問です。

BMCは、加盟団体であるメノナイト世界会議（MWC）に連絡を取り、支援を要請しました。MWCは、これらの問題を共に検討するために、連帯訪問のための代表団を派遣できないかと打診しました。

2024年11月25日から29日にかけて、MWC代表団がミャンマーの兄弟姉妹と過ごすためタイを訪れました。ミャンマーでの会合はミャンマーの指導者にとってリスクとなる可能性があるため、タイで会合するのが最善であると判断されました。（軍事政権は誰が誰と会合するかを厳重に監視しています。）

代表団はセサル・ガルシア（コロンビア）、MWC書記長。ティギスト・テスファイ（エチオピア）、執事委員会書記。アンドレス・パチェコ・ロサーノ（コロンビア/オランダ）。アンドリュース・スダーマン（カナダ/

平和委員会の事務局長であるジョージ・マリアン（米国）、そしてMWC東南アジア地域代表のアグス・マヤント（インドネシア）が同代表団に加わりました。また、ミャンマーのメノナイト教会と長年にわたる関係を築いてきたカナダのノーム・ダイク氏も、この代表団の一員でした。

アナバプテスト運動の起源と歴史BMCのリーダーたちは、アナバプテスト運動の起源と歴史についてさらに学ぶために時間を要求しました。

セザール・ガルシアが毎朝これらのセッションを主導しました。

牧師たちはまた、聖書が何を語っているのかを探求したかった。平和について教えているアンドレス・パチェコ・ロサーノとアンドリュース・スダーマンは、午前と午後、聖書の物語とそれが平和と正義とどのように結びついているかを探る時間を設けました。その時間の一部は、ミャンマーの兄弟姉妹たちが聖書の物語から平和についてどのような見解を持っているかを探ることに費やされました。



視点とそれがミャンマーの状況にどのような意味を持つのか。

アンドレス・パチェコ・ロサノとアンドリュー・サダーマンも
コロンビアや韓国のメノナイト教会など他の教会の平和と正義のための
闘い、またその他の闘い（南アフリカのアパルトヘイトなど）の物語を共有し
ました。

ティギスト・テストファイは、それぞれの祈りの時間を促しました。
出席している指導者と彼らが奉仕する会衆。

一緒に過ごした時間は大変でしたが、素晴らしい時間でした。

シャロームのビジョン

ミャンマー出身の牧師の多くが経験し、今も経験し続けているトラウ
マをグループ全員が処理するのは困難でした。

例えば、ある牧師は、2日前に
彼がこの集会に来た時、彼の友人である牧師の教会の建物は破壊され
ていました。

同様に、シャロームのビジョンを探求し、想像力の力についてしばら
く考え、話し合った後、ある牧師は「しかし、何を想像すればいいのかわか
らない、あるいは想像できない場合はどうなるでしょうか？」と尋ねました。

本当に悲しかったです！

しかし、私たちが一緒に過ごした時間が終わる頃には、多くの祈り、学び、
探求、聖書の読書、そして



アンドレス・パチェコ・ロサノは、ディーコン代表団の訪問中に、ミャンマーの指
導者たちとコロンビアの平和闘争の物語を共有しました。

そのことを振り返り、同じ牧師は、それぞれの状況でキリストの平和を証
し続ける彼らのために、私たちの世界的な聖体拝領が祈るのを助けるた
めに作り上げている祈りを含む行動ステップを強調し始めました。

しかし、旅はまだ終わっていない。旅は続く。

神が彼らと共にあり続けますように。そして、私たちが彼らと、そして
平和のための闘いに連帯できる方法を学びますように。

—アンドリュー・G・サダーマンは平和委員会の事務局長です。米国バージニ
ア州ハリソンバーグ在住。



平和
日曜日

曲情報



スイスの多言語音楽プロジェクト「Songs of Peace」は、歌手やミュージシャンを集めた国際合唱団としてチューリッヒでヨーロッパを代表しました。

私たちは平和を望んでいます

youtu.be/7KzDDISnBRw

「We Want Peace（平和を願う）」は単なる曲名ではありません。それは呼びかけであり、祈りであり、そして使命です。私たちはこの曲を、暴力が私たちの問題の解決策になり得るとは信じていないからこそ書きました。「戦争は神の意志に反する」と、第二次世界大戦終結後の1948年、世界教会協議会は宣言しました。私たちは、このことを忘れてはならないと信じています。

今日、このメッセージはこれまで以上に重要であり、特に平和教会の伝統に立つ私たちメノナイト教徒にとって、私たちの声が今必要とされています。

この3か国語の歌は、世界中のメノナイト教徒のコミュニティの国際的なアイデンティティを少し表現しています。
アナバプテスト500周年を記念して、チューリッヒのグロスミュンスター大聖堂で80名を超える大規模な国際合唱団とともにこの歌を演奏したことは、ソングライターである私たちにとって、深く感動し、アイデンティティを強化する経験となりました。

この詩（ドイツ語とフランス語）はこう述べています。

再び立ち上がり、希望を持って未来を見据える時が来ました。

互いに近づき、敵がいるところでは剣を拒絶しなさい。

旅に出て、どこへ行くにも祝福を持って行きましょう。

平和のために尽力してください！

この曲についてのより深い考察は、ドイツ語のブログでご覧いただけます。

songsofpeace.ch/blog/wewantpeace



歌詞シート、コードシート、SATB 表記については、ここをスキャンしてください。

作詞・作曲 : デニス・ティールマン © 2021
/ フランス語翻訳 : マリー・ノエル・ヨーデル

編曲 : デニス・ティールマン & カリン・フランツ © 2025

songsofpeace.ch

MWC 加盟教会に対し、平和の日曜日およびアナバプテスト世界親睦日曜日の会衆による使用を許可しました。

継続的な使用や大規模なグループ集会での許可については、

songsofpeace.ch/

songs/wewantpeace をご覧ください。または連絡

info@songsofpeace.ch

我々は抑圧に妥協しない

youtube.com/watch?v=L57GTkvU8qo

歌詞の要約

我々は抑圧を決して許さない。

剣に生きる者は剣に死ぬ。我々はあらゆる形態の暴力に立ち向かう。

私たちは街頭デモを行います（「正義なしに平和なし」）。

私たち全員が自由になるまで、隣人と共に歩み続けよう。

私たちは兄弟たちの苦しみ、姉妹たちの叫び、母たちの悲しみから目を背けるつもりはありません。破壊的な政治家、溢れかえる刑務所、そして制度の腐敗からも目を背けるつもりはありません。

全能の神よ、恐れることがないよう助けてください。あなたの力をお与えください。

CCLI ソング # 7158502 Latifah

Alattas | Liz Vice | Paul Zach © 2020 Integrity's

Alleluia! Music; Paul Zach Publishing; Porter's Gate Publications SongSelect® 利用規約に従ってのみ使用できます。

無断複写・転載を禁じます。www.ccli.com